

広報

3

Mar. 2019
vol.591

歴史、ロマン……
今、ここに蘇る――

【戦国山城の中枢部が姿現す】

桑折西山城

戦国時代、東北地方最大の大名伊達氏の本拠地であった桑折西山城（高館城）。今月いよいよ、本丸の復元工事が終わり、城主伊達種宗が政治を行っていた建物の位置や間取り、柵を結っていた門の様子など、戦国山城の中枢部の空間が姿を現します。巻頭特集では、戦国山城・桑折西山城の凄さをご紹介します。

ぜひこれを読んで西山城へ赴き、伊達氏の足跡をたどってみませんか。



献上桃の郷。
桑折町
こおりまち



【独眼竜】に繋がる歴史が始まる ココがスゴイ!

桑折西山城

戦国時代、東北地方最大の大名伊達氏の本拠地であった桑折西山城（高館城）。今月いよいよ、本丸の復元工事が終わり、城主伊達植宗が政治を行っていた山城の中枢部が姿を現します。伊達氏の内乱「天文の乱」の舞台となった桑折西山城の凄さを紹介します。

point 1

東北最大の大名の本拠地だった 戦国大名伊達氏の本拠地として築かれた山城

いまからおよそ四九〇年前、桑折西山城は、「独眼竜」伊達政宗の曾祖父植宗により、戦国大名伊達氏の本拠地として築かれました。当時、伊達氏は、福島県から宮城県、山形県にわたる広大な領土を持ち、その実力は、なんと室町幕府から陸奥国守護職に任じられるほどでした。

伊達植宗は、桑折西山城で、戦国家法「塵芥集」の制定や、周辺大名との「養子縁組・政略結婚」の政策を行いました。実際に、家老たちと署名することにより行われた「塵芥集」の発布や、植宗の息子を養子にもらい受けに来た上杉氏の家臣たちと会談し、上杉氏より贈られた伊達氏家紋「竹に雀」の元となる家紋を拝領したのも、この建物内で起きた出来事である可能性が高いと思われまます。それでは、戦国時代の山城にタイムスリップしましょう。

伊達 植宗

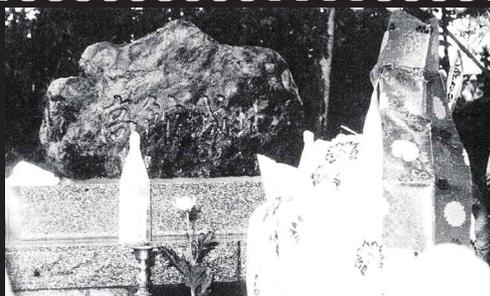
[1488-1565]
伊達氏14代当主。内政と外交ともに長け、「独眼竜」政宗の繁栄の基礎を築いた
(仙台市博物館蔵)



【伊達氏系図】①朝宗—②宗村—③義広—④政依—⑤宗綱—⑥基宗—⑦行朝(行宗)—⑧宗遠—⑨政宗(大膳大夫)—⑩氏宗—⑪持宗—⑫成宗—⑬尚宗—⑭植宗—⑮晴宗—⑯輝宗—⑰政宗



城跡遠景 (大正から昭和前期頃か?)



文化財保存会が建立した高館城址碑

KOORI NISHIYAMA HISTORY

- 1532 (天文元年) ●この頃、伊達植宗、本拠を梁川城より桑折西山城に移す。
- 1536 (天文5年) ●伊達植宗、家法「塵芥集」を制定する。
- 1542 (天文11年) ●伊達植宗、上杉家への養子縁組を結ぶ。嫡男の晴宗、これに反対して植宗を幽閉。天文の乱始まる。
- 1546 (天文15年) ●伊達植宗、西山城を奪還する。
- 1548 (天文17年) ●室町将軍の命令で植宗、晴宗が和睦。その条件として桑折西山城は壊されて廃城となる。晴宗は、本拠を米沢に移す。



「塵芥集(村田本)」
仙台市博物館蔵



町歴史案内人
齋藤 知子さん

桑折町は、今やこんなに穏やかな町並みなのに、かつて伊達氏の大きな戦いがあったなんて想像できない方も多いのではないのでしょうか。しかも、親子軍の対峙というところも、またロマンを感じます。今回の本丸の復元工事により、見晴らしが良くなり、間取りなども明らかになりました。春には桜が咲き誇り、町内を見渡せるビューポイントともなっていますので、ぜひ一度お越しいただきたいです。

【齋藤案内人と行く歴史散歩】 西山城を徹底解説

復元されたばかりの本丸を見学しながら、桑折西山城の歴史を詳しく紹介します。

日時 ▶ **4月21日 13:30**～(観音寺集合)
3月13日(金)より受付開始 【参加費無料】
申し込み・問い合わせ ▶ 生涯学習課 ☎582-3129



昨年の本丸見学会の様子

町史でさらに詳しく

桑折西山城の歴史や構造の特徴については、『桑折町史』に詳しく述べられています。『町史』は桑折町文化記念館(種徳美術館)で購入できます。また、「よも～よ」で借りたり、閲覧したりもできます。



伊達家家紋「竹に雀」は伊達家より使用許可済

桑折西山城の「正庁」と言うべき本丸の中心建物。重臣たちが控える囲み部分の上座に植宗が座っていたとみられる



point
2

植宗政治の舞台残る

植宗が座った場所まで分かる

戦国大名の本城数あれど、実際に大名が政治を執った建物が分かっている城は、多くありません。桑折西山城は、植宗が会議などの政治的な儀式を行ったり、他の大名が訪問して来た際に彼らを歓迎したりする空間の跡が残されています。

point
3

親子が争う戦国の世

独眼竜につながる歴史がここに

桑折西山城は、植宗と跡継ぎ息子の晴宗が争った「天文の乱」の戦場となりました。合戦に勝った晴宗は、本拠を米沢に移し、桑折西山城は廃城に。しかし、城の一部は後に改修され、伊達政宗が豊臣秀吉との決戦に備えて築いたとも考えられています。



間取りが復元された本丸中心建物



発掘調査で見つかった建物跡

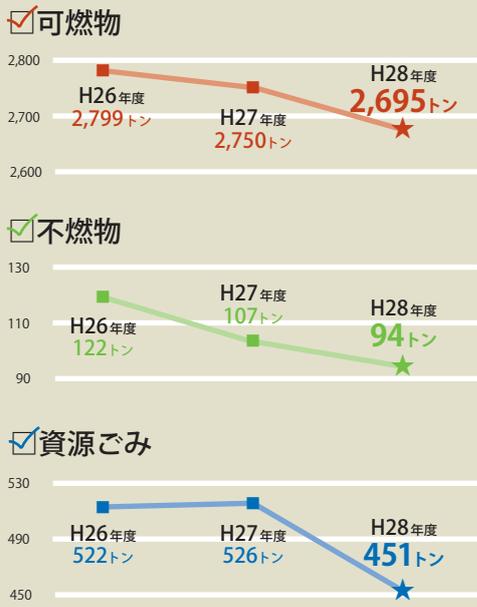
2021 (平成33年)	2016 (平成28年)	1990 (平成2年)	1969 (昭和44年)	1868 (慶応4年)	1590(頃) (天正18年)
● 史跡公園開園予定。	● 史跡整備工事が開始される。	● 国の史跡に指定される。	● 桑折町文化財保存会が高館城址碑を建立。	● 西山城跡の一部に砲台が築かれる。	● 桑折西山城の中館・西館、この頃に改修されたか。

めざせ！環境にやさしいエコの輪が広がるまち

地球のために、今始めよう

「誰かが解決してくれる…」環境問題はスケールが大きくて、ついそう考えてしまいがち。ですが、日々のちょっとした気遣いが積み重なれば、効果はちゃんと出てきます。できるところから「エコ活」に取り組んで、環境にやさしい地域にしませんか。

桑折町のごみ排出量



上記
合計

203トン減少

ごみの焼却や、ごみ収集車の走行の際には、温室効果ガスである二酸化炭素が多く発生します。

地球温暖化防止のためにも、今後もごみの減量に心がけましょう！

環境問題と聞いて、多くの人が思い浮かべるのは、「地球温暖化」ではないでしょうか。近年日本でも被害が巨大化している台風や集中豪雨、猛暑などの異常気象も、その影響と考えられています。温暖化は、地球規模の大きな問題ですが、「どこか遠くで起こっている問題」ではなく、すでにわたしたちの身近な生活にも兆候が現れ始めているのです。

町では、総合計画において「安全安心で住みやすい生活環境の構築」を目標に掲げ、家庭でのエコ活動を支援しています。資源回収の助成や、再生可能エネルギー設備導入助成、生ごみ処理容器の推進などを行い、環境にやさしい町づくりに取り組んでいます。

環境問題は、これまでの人間の活動によって引き起こされた問題です。それを解決することができるのも、わたしたち人間の行動でしかありません。持続可能な地球環境を守っていくために、一人ひとりの取り組みが求められています。今回の特集では、町内で取り組んでいる「エコ活動」と、町の助成制度を紹介いたします。

豊かな自然に恵まれ、美しい景観が残る桑折町。このふるさとを未来へ守り伝えるために、みんなで省エネ生活を始めましょう。

HOT NEWS!

役場が県議定書奨励賞を受賞

桑折町役場が平成30年度福島議定書（事業所版）において奨励賞へ選出され、2月12日の表彰式で内堀知事から高橋町長へ賞状が手渡されました。

福島議定書は、事業所が自ら温

室効果ガス削減目標および取り組み内容を定めて知事と議定書を取り交わし、省資源・省エネルギー等実践活動に取り組む事業です。役場でも、節電・節水やノーマイカー通勤等に取り組んでいます。





昨年12月に県から「食べ残しゼロ協力店」として認定されました。

食べ残しゼロを推進



interview_03 器&カフェレストラン遊
オーナー 木村 勇子さん

県が実施している「食べ残しゼロ協力店」に加盟しています。食材の廃棄を減らすため、注文の際に「少なめ」など量の希望を伺ったり、自然保護のため、割りばしを希望者のみにお渡ししたりするようにしています。今後はエコポイント制度などを検討し、お客さんが楽しめる形で、エコ活動に取り組みたいです。

半田醸芳小学校では、5年生で「節電・節水見守り隊」を結成し、地球温暖化防止に取り組んでいます。例えば、朝の放送で節電・節水を呼びかけたり、お昼休みに各教室を巡回して電気を消したり、水道の蛇口が緩んでいないか確認したりしています。この取り組みによって校内の電気・水道代が下がり、平成28年度には福島議定書最優秀賞をいただきました。



先輩方から受け継いできたこの名札を首から下げ、隊員で交替しながら、毎日全教室を巡回しています。

見守り隊を結成



interview_02 半田醸芳小学校
節電・節水見守り隊 井藤 柊太くん

環境に配慮したエコドライブ



環境に配慮したクリーンディーゼルトラックを導入しています。

interview_01 福興産業(株)
代表取締役社長 山川 憲彦さん

福島議定書に参加する当社は、産業廃棄物収集運搬車に低排出ガス車を導入しています。保有台数のうち60%を環境省が定める燃費基準を達成した車に切り替えました。また、エンジンをこまめに切ったり、エアコンの温度管理に気をつけたりするなどの「エコドライブ」にも従業員全員で取り組んでいます。

みんなの「エコ活動」を応援します！

生活環境課 エネルギー環境対策係
☎ 582-2123

再エネ設備でCO2の排出を抑えよう

環境に配慮した設備導入推進のため、次の設備を設置する際に、費用の一部を補助しています。

【住宅用太陽光発電システム】

1kwあたり3万円、最大4kw（上限12万円）

【定置用リチウムイオン蓄電池システム】

1kwhあたり2万円、最大5kwh（上限10万円）

【バイオマス燃料ストーブ】

対象経費の総額に5分の1を乗じて得た額
（上限5万円）

光熱費を抑えて
環境保全にも貢献！



生ごみ処理容器で廃棄を少なくしよう



生ごみ減量化のため、町内会で取りまとめて注文する家庭用生ごみ処理容器の費用は半額を補助しています。

地域みんなで資源回収をしよう



町内会などが家庭から出る新聞や段ボール等の資源の回収活動を行った場合、回収量に応じて報奨金（1kg3円）を交付しています。

相馬福島道路要望活動 早期完成求める

相馬福島道路に関する総決起大会が行われた翌日から、高橋町長と片平町議会議長らが、相馬福島道路の早期完成と（仮称）国道4号インターチェンジに『桑折』の名称を求める要望活動を行っています。

1月30日には、発起人会の佐藤久仁夫会長とともに、福島河川国道事務所小浪尊宏事務所長と東北地方整備局高田昌行局長のもとを訪れました。

また、2月4日には、官公庁へ赴き、国土交通省の国土交通大臣政務官阿達雅志参議院議員と池田豊人道路局長、菊地身智雄技監、財務省主計局を訪問し



相馬福島道路の要望活動のため、高橋町長から阿達議員（写真1中央）、池田局長（写真1右から2番目）、菊地国土交通省技監（写真2右から2番目）、小浪事務所長（写真3右から2番目）らに要望しました。

ました。

町では、引き続き、復興のシンボルとなる相馬福島道路開通に向けて、財源確保と『桑折』を名称に使うよう働きかけていきます。

どんなことを要望してきたの？

平成32年度に開通予定の相馬福島道路。この道路工事に伴う次年度以降の十分な予算確保を財務省に要望しました。

また、この道路と町内をつなぐ国道4号ICに『桑折』の名称を使用するよう、国土交通省に要望しました。



あんぽ柿トップセールス 安倍首相へお届け

あんぽ柿のトップセールスのため1月31日、高橋町長は、内堀雅雄県知事、JAふくしま未来菅野孝志代表理事組合長、生産部会長、伊達市長、国見町長、福島キャンペーンクルーミスピーチらとともに、首相官邸を訪れました。

安倍首相は、一口召し上

がると「甘くておいしい」と笑顔を向けました。

今年は、生育期間中の天候に恵まれたため、例年より糖度が高い「あんぽ柿」ができました。

引き続き、町では、全国各地の消費者へ、あんぽ柿の美味しさを広くPRしていきます。



首相官邸にてあんぽ柿のおいしさをPRしてきました



トロリと甘い、きれいなアメ色の「あんぽ柿」。ビタミンやカルシウムなどが凝縮され、栄養とおいさがギュッと詰まっています！

浦島先生の講演会 健診結果から「生活習慣」を考える

町健康講演会「健康についてみんなで考えよう！」が2月22日、「イコーゼ」で行われしました。震災後、町放射線健康リスク管理アドバイザーを務めた、東京慈恵会医科大学の浦島充佳先生を講師に招き、町民約150人が参加しました。

はじめに、保健福祉課より、町の特定健診から見える町の現状について説明。同規模自治体や国と比較して、桑折町はメタボリックシンドローム（以下メタボ）該当者・予備軍や、高血圧の人が多いことなどについて

お話ししました。続いて、浦島先生より、医学的な立場から、この健康状態が続いた場合、どのような病気になる可能性があるのか、あるいは、病気を未然に防ぐためには、普段の生活の中で何に気をつければいいのかについて、ポイントを教えていただきました。また、先生自身、昔はメタボ体型だったことを告白。食生活を見直したり、少しずつ運動を始めた結果、健康状態が回復してきた経緯をお話してくださいました。



▲自分の健診結果を見返しながら講演に耳を傾ける参加者

Interview

生活習慣の見直しが 健康増進・回復につながる

薬を使わなくても、食事や運動などの生活習慣を見直すだけで、薬を飲むのと同じくらいの作用が働き、病気を防いだり、症状が回復したりすることができます。副作用もなく、医療費もかからず、一石二鳥ですよ。今や「人生100年」と言われます。残りの人生も健康で過ごすために出来ることから始めましょう。

浦島 充佳 先生



在宅医療講演会・介護予防大会 自分らしく暮らせる町をめざして

在宅医療・介護講演会が1月30日に、やすらぎ園で行われました。桑名医院の桑名俊光先生より、在宅看取りについて講演いただきました。最近では、最期を自宅で迎える人が増えており、元気なうちから最期はどうしたいか、家族や専門職も交えて話し合う、計画しておくことが必要であるとお話いただきました。

また、2月13日には、介護予防大会が行われました。はじめに、いきいき百歳体操の活動開始当初から4年目を迎える3団体に感謝状、参加者最高年齢である佐藤キヨさん（95歳）に表彰状を贈呈しました。その後、参加者全員で体操を実施。最後に、百歳体操ポイントの抽選会を行い、体操仲間の輪を広げました。



1_ 百歳体操発足当時20人だった参加者も今や370人に
2_ 体操参加者最高年齢の佐藤さんに表彰状を贈りました
3_ 在宅医療・介護についてをお話する桑名先生

交通事故死者ゼロ2千日達成 県交通対策協議会長表彰



▶記録達成を祝って、関係者一同で記念撮影

交通事故死者ゼロ2千日達成福島県交通対策協議会長表彰伝達式が1月29日、役場で行われました。県北交通対策協議会長の小川武県北地方振興局長から町交通安全対策協議会長の高橋町長に表彰状が手渡されました。小川局長と金澤幸生福島北警察署長が祝辞を述べた後、高橋町長が「今後も記録を伸ばせるよう、町も交通安全運動にまい進したい」と謝辞を述べました。

この記録が三千日、四千日と続くよう、町、関係機関が協力して交通事故撲滅に取り組み、安心して暮らせる町を目指していきます。

交通事故防止コンクール 桑折町が特別表彰受賞

平成30年市町村別交通事故防止コンクールの表彰式が2月18日、福島県庁で行われ、桑折町が表彰を受けました。

このコンクールは平成30年の事故発生状況と過去3年間の状況を比較し実績を評価したもので、高齢者の事故率が大きく

減少したことから「特別表彰」を受賞しました。

高橋町長は「高齢者の事故が増加する中、受賞できたのは、町民の皆さんをはじめ、警察署や交通安全関係団体の各季の啓発運動や日頃の交通安全の呼びかけ等、ご協力の賜物」と話しました。



◀亀岡桑折地区交通安全協会会長(左)、野崎シルバー交通安全推進隊長(右)

仙台駅と羽田空港で 桑折町の魅力を全国にPR

町の知名度アップと観光誘客の増加および風評払拭を図るため、観光・農産物のPRイベントが、1月18日と19日にJR仙台駅で、1月26日と27日に羽田空港で行われました。

JR仙台駅では、中央改札口広場に設置してある大型モニターに桑折町の紹介映像を放映し多くの駅利用者へ情報を発信。また、スマイルピーチやホタピーとの記念撮影、アンケート調査を行い、参加者に至福の

桃グミをプレゼントするなど、さまざまな面から桑折町をPRしました。

羽田空港では、国内線第1ターミナルで行われた県主催の「ふくしまフェスタ in 羽田空港」に参加し、町の観光、ふるさと産品等の魅力を発信しました。また、特設ステージでは、スマイルピーチとホタピーによる町の紹介コーナーも行い、全国から集まる空港利用者に向けて、情報を発信しました。



1_ 駅構内の大型モニターの前で多くの利用者にPR 2_ 新しい観光ガイドブックも好評 3_ スマイルピーチとホタピーに子どもたちも大喜び

■桑折町男女共同参画プラン推進懇談会委員 (敬称略)

職名	氏名	団体・役職名等
会長	半澤利津子	町女性団体連絡協議会会長
副会長	鈴木堅之	町商工会青年部長
委員	佐藤久仁夫	町行政連絡員連合会会長
委員	佐藤淳子	町PTA連絡協議会 (醸芳中学校PTA副会長)
委員	浜田広美	町社会福祉協議会
委員	蓬田由美子	JAふくしま未来女性部 伊達地区桑折総合支部長
委員	大槻睦子	NPO法人ささえ愛ふらっと
委員	奥山 篤	町工場協会事務局
委員	梅宮克美	福島信用金庫桑折支店長
委員	松浦佳子	一般
委員	片平文子	一般
アドバイザー	藤野美都子	県立医科大学医学部 人間科学講座教授

男女共同参画プラン推進懇談会
さらなるプランの推進を図る

町では「こおり男女共同参画プラン」を策定し、さまざまな施策を行っていますが、より効果的な事業の推進や改善を図るため、意見等をいただく「桑折町男女共同参画プラン推進懇談会」を設置しています。

平成31年2月1日からは新たな委員を選任し、2年間の任期として町長から委嘱状を交付しました。



▲懇談会では、町の推進状況を確認したり、プランについての意見を交わしたりしました

消費生活に関する出前講座が1月31日、町と町社会福祉協議会との共催で行われました。

福島県生活環境部消費生活課の紺野充主任主査を講師に招き、「安全に暮らしていくために」と題し、家庭で起こりやすい事故状況を紹介。階段や室温などの「住環境」

消費生活の出前講座を開催
家庭で起こりやすい事故を学ぶ

が原因の事例や、電化製品等の「製品」が原因の事例について、ついやってしまいがちな危険性をお話しいただきました。

参加者からは「電化製品の使い方を見直そうと思った」「製品の安全性を示すマークが分かって参考になった」などの感想がありました。



▲実際の事故状況を動画で見ながら、安全な暮らしについて学びました

▶質疑応答で意見を交わす宗片さんと参加者



男女共同参画推進のための講演会が2月9日、中央公民館女性講座との共催で行われました。

今年度は防災分野での男女共同参画について、NPO法人イコールネット仙台の宗片恵美子さんを講師に迎え、「災害に強い地域づくりのため

災害発生時における
男女共同参画のあり方を学ぶ

に」と題して講演いただきました。

有事の際は男性に頼りきりになるのではなく、女性もリーダーとして活躍できるよう、日頃から男女共同参画の視点で地域での活動やつながりを持つことが重要であることなどを学びました。

桑折町立志式・記念講演 15歳の節目に自分を見つめる

町立志式・記念講演（町青少年育成町民会議主催）が2月8日、「イコーゼ！」で開かれ、醸芳中2年生が出席しました。

立志式は、数え年で15歳の節目に自分を見つめ、社会の一員としての自覚や責任を持つきっかけになるよう実施しています。

式典では、運営委員長の会田教育長が生徒代表の吾



1_2年生を代表して誓いの言葉を述べる矢吹さん 2_鹿野さんより「地域の魅力」と題して講演をいただきました 3_生徒全員で「生命が羽ばたくとき」を合唱しました

妻緋色さんに証書を授与しました。続いて、生徒代表

の矢吹ななこさんが「立志という意味を受け止め、今以上に、自分の行動に責任をもち、思いやりの心を大切にします」と誓いました。

記念講演では、日本調理技術専門学校の鹿野正道副校長より「食べる事は楽しい事である」とメッセージを贈っていただきました。

幼稚園・小中学生に制服贈呈 ピカピカの制服に笑顔

町は、平成31年度新入园児および新入学児童生徒へ入园・入学のお祝いとして、町内の幼稚園と小中学校の各制服を贈呈しました。

これは、子どもたちに新たな気持ちで幼稚園や学校の生活を送ってほしいとの思いから、今年で

3度目の実施となります。また、子育て世代の入学時における経済的負担の軽減を図ることも目的としています。

2月22日、醸芳幼稚園で贈呈式が行われ、園児らは「小学校でも頑張ります」と凛々しい表情で制服を受け取りました。



▶町より4月から新1年生になる子どもたちに制服が贈られました

町の子育てセミナーがスタート ネウボラについて理解深める

桑折町子育てセミナーが2月26日、やすらぎ園で行われました。主にフィンランドの幼児教育を研究している、仙台大学の柴田千賀子先生を講師に招き、フィンランドの子育て支援制度「ネウボラ」の考え方や、実際の保育現場についてお話をいただきました。

また、講演会に並行して、安心して子どもを預けられる遊び場やカフェコーナーも設け、子連れで参加する保護者の方も多く見られました。

町では、来年度も継続して子育てセミナーを開催し、安心して子育てができ、住み心地がよい町をめざしていきます。

◀フィンランドの子育てから子どもとの対話の大切さをお話しました



献上桃の郷BBQフェス2019

チケット販売開始
桃源郷でBBQフェス

問 実行委員会（産業振興課内） ☎582-2126



桃の花や半田山を眺めながら青空の下でバーベキューを楽しみましょう！うまいもの屋台や風船の国のアリスによるステージもあります。

日にち ▶ 4月14日(日)

場所 ▶ 桃の郷ポケットパーク(伊達崎字大畑向)

定員 ▶ 1,000人

チケットについて ▶ 1人 税込2,000円

(チケット1枚につき肉300g + 野菜と引換え)

※ 飲物、焼きそば等売店にて別途販売します。

【販売期間】 3月1日(金)～4月5日(金)

【購入場所】 役場、町振興公社、町商工会、JAふくしま未来桑折営農センター、伊達果実農業協同組合、ふくしまFMホームページ

臨時駐車場 ▶ 「イコーゼ！」

シャトルバス発着所 ▶ 桑折駅、「イコーゼ！」

(終点は衛生処理組合)

主催 ▶ 献上桃の郷BBQフェス2019実行委員会

除染廃棄物処理事業

仮置場の除去土壌等
搬出が進んでいます

問 生活環境課 原発事故対策係 ☎582-2123



現在環境省により、町内仮置場で保管している除去土壌等を中間貯蔵施設に搬出する作業が行われています。今年度は、約20,000袋の輸送が計画され、これまで約8割の搬出が完了しました。また、ふれあい公園や町民グラウンドに埋設した土壌等の搬出も進めています。

これまで仮置場12箇所から搬出が完了し、小学校や幼稚園などの教育施設に埋設していた除去土壌等も、すべて搬出が完了しました。

来年度の搬出量は、約43,000袋が予定されています。今後も引き続き国に除去土壌等の早期搬出を求めています。

蚕糸記念公園整備事業

旧蚕糸庭園整備中
4月3日に竣工式

問 まちづくり推進課 都市整備係 ☎582-2124



旧蚕糸庭園を憩い・交流の場、賑わい創出の場として利用いただけるよう、昨年8月から整備を進めています。名称は、町の発展に寄与した蚕糸業の名残りを留める「桑折町蚕糸記念公園」となります。完成は3月22日の予定です。

整備概要 ▶ 池型の保存、四阿(あずまや)、園路、水飲み場、手押しポンプ、親水池、駐車場、クローバー広場

桑折駅前駐車場整備事業

桑折駅前駐車場
4月末から有料化へ

問 まちづくり推進課 都市整備係 ☎582-2124

4月26日から、駅前駐車場は「コインパーキング」、駅北臨時駐車場は「月極駐車場」に変わります。(民間事業者が管理運営)

利用料金 ▼

【駅前駐車場】 1時間100円、24時間最大料金500円(繰り返し適用)、無料時間2時間

【駅北月極駐車場】 町民利用者 1ヶ月3,000円(税別)

※ 3月中旬～4月下旬まで、機器設置等の工事を行います。(期間中も利用可。一部制限あり)

※ 詳細については、後日改めてお知らせします。



▲ロータリークラブ阿部会長より作品製作に使う道具を引き継ぐ生徒たち

来 1/22 醸芳中学校フラワーロードギャラリー引き継ぎ式 年度の作品製作に向けてバトンタッチ

桑折駅前復興公営住宅前で見の人を楽しませている、醸芳中学校フラワーロードギャラリー。この取り組みを来年度へ引き継ぐため、引き継ぎ式が醸芳中学校で行われました。

作品に使う陶板や絵の具を寄附いただいているだて西ロータリークラブの阿部真樹会長は「昨年末にラジオ福島で、この取り組みが紹介され、注目が高まっている。ぜひ来年度も良い作品を作ってほしい」とあいさつし、大木修醸芳中学校長からは「復興公営住宅にお住まいの人や通行する人に作品を見ていただき、町を明るくしていきたい」と話しました。

可 1/25 醸芳幼稚園年長組発表会 愛らしい演技を保護者らに披露

醸芳幼稚園で発表会が行われ、年長児74人が、劇やダンス、歌などを元気いっぱい披露しました。

劇では、一人ひとりセリフが多い中、堂々と大きな声で発表し、ダンスや運動では、これまでの練習の成果を存分に発揮し、保護者や来賓の皆さんにかっこいい姿を見せていました。保護者からは「最後に全員で発表した手話付きの合唱『365日の紙飛行機』にとっても感動した」などの感想がありました。観客の多さに少し緊張している園児もいましたが、友だちと一緒に力を合わせて、一生懸命頑張る姿が印象的でした。



▲劇「ねずみの嫁入り」太陽や雲などになりきった可愛らしい演技を見せました



▲参加者みんなで和気あいあいとピザを作り、交流しながら美味しくいただきました

ピ 2/3 福島圏域出会いの場創出事業 ザ作り体験を通して、楽しく交流!

福島圏域で実施する交流イベント「阿武隈急行とバスで行く縁結びツアー」が開催されました。当日は、男性20人、女性20人が参加し、ぺんぎんナッツ（よしもと住みます芸人）のナビゲートのもと、福島圏域（福島市、二本松市、伊達市、本宮市、白石市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、飯館村、米沢市）の人気スポットを巡るほか、縁結びに役立つ講座を受けました。

「レガールこおり」では、ピザ作り体験と会食を通して交流を深め、楽しいひとときを過ごしました。

醸 2/12 第13回赤十字・いのちと献血俳句コンテスト 芳小 横山さんが県内最高賞を受賞!

献血活動への普及活動を目的とした「日本赤十字社第13回赤十字・いのちと献血俳句コンテスト」において、全国約13万句以上の応募の中から、醸芳小学校の横山穂乃花さん（作品『かき氷 欲しさ忘れて 稚児の舞』）が、県内では最高賞となる血液センター所長賞に選ばれました。

これに際して、醸芳小学校で表彰伝達式を実施。横山さんは「小学3年生から始めた稚児の舞も、今年で引退の歳となりました。諏訪神社例大祭は私にとって夏休みの楽しい思い出です。最後の稚児の舞に懸けた想いを俳句に込めました」と作品に対する想いを明かしました。



▲(左から) 峯岸正好血液センター所長、横山さん、木村政文醸芳小学校長



桑 1/4～ オランダ人のご夫婦が来町 折町の暮らしを体験したい！

日本での暮らし方や文化に興味を持ったオランダ人のご夫婦が、1月初旬から約2か月の滞在期間を経て、オランダに帰国することになりました。

滞在期間中は、地域の方々との交流や町のイベントなどに多く参加いただきました。醸芳幼稚園や伊達崎小学校では、子どもたちにオランダの街並みや文化を紹介したり、ささえ愛ふらっとでは、利用者にオランダ料理を教えていただいたりしました。



マーティンさん
Mr.Martin

イングリットさん
Mrs.Ingrid

2ヶ月前桑折町に着いた日が昨日のことに感じられます。たくさん場所に行けて、たくさんの人に会えてとても嬉しかったです。子どもからお年寄りの方まで、皆さん本当に親切なおもてなしをしてくださいました。天気は寒かったけど、皆さんは温かく、アットホームな雰囲気でした。もうすぐオランダの生活に戻ります。帰国後は、オランダにある日本の博物館で、ひな祭りについてレクチャーする予定です。機会があれば、ぜひまた桑折町に来たいです。だから、またね！
Dank je well (オランダ語でありがとう)



▲満100歳を迎えたサタさん。これからも元気に長生きしてください。

工 2/12 100歳賀寿おめでとうございます 藤サタさんに賀寿贈呈

2月12日に100歳を迎えた工藤サタさんへ、町から賀寿とお祝い金、県から賀寿と記念品、町議会、町社会福祉協議会、町老人クラブ連合会よりお祝い金が贈られました。

社交的で歌が好きなサタさん。長寿の秘訣は「自分のことは自分で行うことと、毎日身だしなみを整えること」だそうです。

ご家族も「こうして満100歳を迎えることができ、大変うれしい。これからも明るく元気に生活してほしい」とサタさんとともに賀寿の喜びを分かち合いました。

功 2/18 小・中学校各種コンクール表彰受賞報告会 績をたたえて

各種コンクールにおいて、素晴らしい賞を受賞された小・中学生の皆さんが、その報告のため役場を訪れました。高橋町長は「各分野で羽ばたく皆さんは町にとって大変喜ばしい」とお祝いの言葉をかけました。

- ・渡邊希亜さん(醸芳中3年)朝河貫一賞「優秀賞」
- ・阿部豊さん(醸芳中1年)ざぶん賞「準ざぶん大賞」
- ・加藤郁さん(醸芳小6年)算数オリンピック「銅メダル」
- ・横山穂乃花さん(醸芳小6年)赤十字・いのちと献血俳句コンテスト「血液センター所長賞」



▲(左から)横山さん、加藤さん、高橋町長、渡邊さん、阿部さん

【お詫びと訂正】先月号に掲載した「平成30年北海道胆振東部地震募金」の記事について、金額等の誤りがありました。お詫びして訂正します。(正)各町内会等の寄附で集まった義援金計118万円が日本赤十字福島県支部を通じて早急に被災地へ送り届けられました。

生涯学習だより



杉山愛の「夢を叶える生き方」リスト100 桑折町文化講演会

町文化講演会が2月2日「イコーゼ！」で行われ、小学生から大人まで町民約250人が参加しました。この講演会は、町・教育委員会の主催で、県地域づくり総合支援事業の補助金を受けて実施しました。

講演会では、女子テニス元トップ選手の杉山さんが現役時代や引退後の生活で学んだ「夢を叶える生き方」を伝えました。杉山さんは、小学生の頃からテニス教室に通い、中学生で初めて全国大会優勝、17歳でプロに転向し、世界ランキングを着実に上げていきました。しかし、25歳でスランプに陥り、フォームや練習法を一から見つめ直し意識改革したことで、3年後に目標の世界ランキングトップ10入りを果たしました。その経験から「スランプがあって良かった。ピンチは今までのやり方を変えやすい時期であり、自分を変えるチャンス」であったと教えていただきました。また、引退直後は「この先の人生どうしよう」と悩み、「やりたいこと100リスト」を作成して実行したことにより、心の穴が埋まっていった経験を告白。最後の質問コーナーでは、質問者にサインボールが手渡され、「試合でミスしたときの気持ちの切り替えについて」などの質疑応答がありました。



基礎操作を習得 初心者パソコン教室

初心者向けのパソコン教室が2月12日から2月21日にかけて「イコーゼ！」で行われました。全4回の学習では、マウス操作の基本から始め、ワードを使って文書作成の仕方までを学びました。

初心者向けの教室のため、ツールバーやタスクバーといった用語を確認しながら、学習を進めました。回を重ねるごとに、参加者のマウス操作や文字入力もスムーズになりました。最後には、ワードを使って、写真やイラストを入れた文書を作れるまでに上達しました。



盤上で熱戦 第57回如月杯囲碁将棋大会

如月杯囲碁将棋大会が2月10日、「イコーゼ！」で行われ、一般29人、小学生9人が参加しました。▶囲碁【一般A】優勝 一条利市、準優勝 安藤芳雄、第3位 幕田義男【一般B】優勝 佐藤金助、準優勝 佐藤英司、第3位 佐藤利夫【小学生】優勝 稲村百合那、準優勝 横山穂乃花、第3位 稲村巨亮▶将棋【一般A】優勝 佐藤忠成、準優勝 川合陽一、第3位 佐藤隆雄【一般B】優勝 多勢勇、準優勝 影山智宥、第3位 田中正雄【小学生】優勝 佐藤樹、準優勝 八巻希碧、第3位 小幡優翔(敬称略)



ラグビーを体験 タグラグビー教室

タグラグビー教室が、1月15日から毎週火曜日に町民体育館で行われました。昨年全国大会に出場した聖光学院高校ラグビー部の佐藤忠洋監督、伊達ラグビースクールの鈴木真由美コーチ、県ラグビー協会レフリー委員長の増田達也さんの指導のもと、パスやキャッチなどのラグビーの基本練習や、タグを使ったミニゲームを通して、タグラグビーの面白さやルールを学びました。

教室終了後に、教室に集まった仲間で作って大会に出場し、習った技術や実力を試してきました。

図書だより

図遊学館「よも〜よ」 ☎ 582-5388

今月のおすすめ /

美しい音楽にふれてみませんか



一般書

■ありえないほどうるさいオルゴール店 瀧羽麻子：著（幻冬舎）

北の町でひっそりと営業しているオルゴール店では、風変わりな主人が“お客様の心に流れる曲”を小さな箱に仕立ててくれます。耳の聞こえない少年。音楽の夢をあきらめたバンド少女。長年連れ添った妻が倒れ、途方に暮れる老人。彼らの心には、どんな音楽が流れているのでしょうか…。

■音楽ってかんたん！おもしろい！オーケストラ大図鑑 演奏と鑑賞のすべてがわかる 東京フィルハーモニー交響楽団：監修（PHP研究所）

オーケストラの演奏会は、はなやかに迫力がありますね。でも、1つの演奏会を開くために、実際は1年以上も前から準備していることを知っていましたか。本書では、演奏会が計画されてから終了するまでの様子を中心に紹介。音楽の楽しさにふれることができる鑑賞方法もついています。



児童書

掲示板

図生涯学習課 ☎ 582-3129

平成31年度高齢者大学「かやのき学園」受講生募集

講話・実技・移動学習・遠足などを実施しています。希望者によるクラブ活動も行います。

活動期間 平成31年4月～翌年3月（主に金曜日、年10回）

対象者 桑折町在住の人で、65歳以上の男女

申し込み 3月29日（金）までに生涯学習課（☎582-3129）へご連絡ください。



参加者募集

ソフトバレーボールクラブ

4月より正式にサークルとして活動します。生涯スポーツとして楽しく活動しましょう！

- ◆活動日 第1・第3土曜日
- ◆時間 19:00～21:00
- ◆場所 睦合小体育館
- ◆対象 中学生以上（男女不問）
- ◆参加要件 クラブ会員であること

現在もプレ期間として、活動しています！見学・体験を随時受け付けています。

スポーツ振興
くし助成事業



スキルアップ講座 普通救命講習会



スキルアップ講座「普通救命講習会」が2月3日、「イコーゼ！」で行われ、7人が参加しました。伊達地方消防組合中央消防署西分署の方々を講師に招き、心肺蘇生法やAEDの操作方法など教えていただきました。

今後の活動や日常生活に備えて真剣に取り組みました。

スノートレッキング 第1弾～半田山～



1月27日に参加者12人で半田山へ行ってきました。この時期しか通ることのできないルートから山頂を目指し、雪化粧したハートレイクを見ることができました。

下りは自由に歩き回ったり、尻ソリで滑ったり、前日の降りたての新雪のおかげで、冬の半田山を満喫することができました。

マルベリーこおり



図マルベリーこおり事務局
☎ 582-3129

木 THU	金 FRI	土 SAT
7 ♥	8 ◆ 制服贈呈式(伊達崎小、 新中1年生へ贈呈) ◆ ホールボディカウンタ 測定日 ◆ かやのき学園	9
14 手づくりおやつ会	15 ★ ◆	16 桑折学習塾 (中1、2閉講式)
21 春分の日 ☎ほばらクリニック ☎574-2522	22 小学校卒業式 ★ ◆	23
28 ♥	29 教職員離任式 ★ ◆	30
4	【臨時に窓口を開庁します】 就職・入学・転勤に伴い、住民異動などの手続きが集中する時期のため、臨時に窓口業務を行います。取扱いできる業務は次のとおりです。 住民異動届(転入・転出・転居)・住民票、戸籍関係の交付・印鑑登録および印鑑証明書の交付・国民健康保険の加入・喪失手続き・マイナンバー申請・交付 ※税証明関係は取り扱いません ☎税務住民課☎582-2114	

- 公民館 ●やすらぎ園
- ◆母子手帳交付・すくすくの日
- ◆保健師・看護師による健康相談
:「やすらぎ園」9:30～11:00
【交流スペース開放】
:「イコーゼ!」10:00～11:30
- ♥ベビールーム(生後1ヵ月～1歳5ヵ月頃のお子さんと保護者)
- ★キッズひろば(1歳6ヵ月頃～就園前のお子さんと保護者)
- ☎休日当番医

◆町税の納付は便利な口座振替を
町税の納付は、納め忘れの心配が
いない口座振替が便利です。役場
税務住民課窓口でも申込みが
できます。☎税務住民課 収納係 ☎582-2114

HEALTH
健幸生活
|VOL.10|

今回は 肺炎球菌ワクチン予防接種 です。

今月号は、高齢者肺炎球菌ワクチン定期予防接種をお知らせします。毎年「接種を忘れていた」と接種期間後の問い合わせが多くあります。対象の人には、問診票を送付していますので接種しましょう。また、問診票をなくした人はご連絡ください。☎保健福祉課 ☎582-1133



忘れずに接種
しましょう!

- ◇対象者
右記の人で、過去に肺炎球菌予防接種を受けたことがない人。
(自己負担での接種も含む)
- ◇期間 **3月31日**まで
- ◇回数 1回接種
- ◇料金
8,160円(内 自己負担:2,400円
町負担:5,760円)
※生活保護受給者は全額町負担

65歳	昭和28年4月2日生～昭和29年4月1日生の者
70歳	昭和23年4月2日生～昭和24年4月1日生の者
75歳	昭和18年4月2日生～昭和19年4月1日生の者
80歳	昭和13年4月2日生～昭和14年4月1日生の者
85歳	昭和8年4月2日生～昭和9年4月1日生の者
90歳	昭和3年4月2日生～昭和4年4月1日生の者
95歳	大正12年4月2日生～大正13年4月1日生の者
100歳	大正7年4月2日生～大正8年4月1日生の者

60～65歳未満の人で、心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する人(身体障害者1級相当)

—お詫びと訂正—
先月号の3歳児健診むしばのない子について、名前の誤りがありました。お詫びして訂正します。



渡邊 詩空くん 渡邊 陽向くん 菅野 心陽くん 佐藤 圭くん 佐久間 紬風ちゃん

日 SUN

月 MON

火 TUE

水 WED



【ロゴマークピンバッジ大好評販売中!】

桑折町のロゴマークをあしらったピンバッジを販売しています。卒業や入学など、節目の記念にいかがですか。みんなでつけて町をPRしましょう!

場所 総合政策課窓口 価格 700円
 大きさ 縦2.7cm、横1.8cm
 問 総合政策課 ☎582-2115

6 広報3月号 お知らせ版
 献上桃の郷BBQフェス
 2019チケット販売期間
 (3/1~4/5まで)
 桑折町歴史案内人
 育成講座

詳しくは
11ページへ

10 ◎武田小児科 ☎575-2439	11 ゲーデ・ピアノ三重奏団 コンサート ♥ ◆	12 1歳6ヵ月児健診 (H29年7・8月生) (受付:13:00~13:30)	13 中学校卒業式 ★
17 ◎ながえクリニック ☎575-1118 ◎伊藤皮膚科クリニック ☎551-1121	18 幼稚園修了証書授与式 ♥	19	20 お知らせ版 ★
24 窓口開庁日 ◎伊達セントラルクリニック ☎575-3215	25 ホールボディカウンタ 測定日	26	27 ★
31 窓口開庁日 (翌週4/7も開庁します) ◎まつもとクリニック ☎582-4800	4/1 教職員着任式	2 7か月児健診(H30年8月生) (受付:13:00~13:15) 4か月児健診(H30年11月生) (受付:13:15~13:30) ブックスタート	3 広報4月号 お知らせ版 桑折町蚕糸記念公園 竣工式



豆・野菜・乳製品もとれて、
栄養満点の料理です。
(渡邊薫さん、
陽向くん、心陽ちゃん)

ここがポイント

大豆のお焼き



■材料 (4人分)

大豆水煮 (缶) … 200g
 じゃがいも … 1個
 にんじん … 1/2本
 ピーマン … 1個
 玉ねぎ … 1個
 サラダ油 … 少々
 塩・こしょう … 少々
 プロセスチーズ … 20g
 スキムミルク … 大さじ4
 卵 … 1個

■作り方

- 大豆水煮はフードカッターでペースト状にする (牛乳少々を加えてミキサーにかけても良い)。じゃがいもはゆでてつぶしておく。
- にんじん、ピーマン、玉ねぎはみじん切りにし油で炒めて塩・こしょうする。チーズは角切り。
- ボウルに①②スキムミルク・卵を入れて混ぜ合わせ、小判型にまとめてフライパンで両面を焼く。

[エネルギー 200kcal たんぱく質 13.7g 脂質 7.1g
 カルシウム 211mg 鉄 1.4mg 塩分 0.7g]

PERSON

伊達崎には、環境にやさしい取組みがたくさん！
これからも積極的に参加していきたい

伊達崎地区は、環境にやさしい地域だと思います。例えば、毎年小学校のPTAが主体となって、地域のみinnで一斉に資源回収を行い、各家庭の資源ごみを小学校に集積しています。また、学校では、水道付近に水の使い過ぎに注意するポスターを貼ったり、6年生が全教室を巡回して電気のつけっぱなしがないか確認したりして、節電・節水に努めています。この甲斐あって、水道使用量は昨年度より半分以下に抑えることができました。他にも、森林環境学習に取り組み、大玉村にある「フォレストパークあだたら」の森の案内人の方から自然の大切さについて教えていただいています。

わたし自身も、家族と一緒に資源回収活動に参加したり、家でも節電・節水を心掛けたりしています。中学生になっても、こうした地域の取組みに積極的に参加し続けたいです。

伊達崎小学校
代表委員会委員長

大槻 芽生さん

OTSUKI MEI

CLUB

桑折町の各種クラブの取組みを紹介します。

桑島太極拳クラブ

太極拳は、一つひとつゆっくりした動きで、年配の方でも無理なく筋力を鍛え、健康増進につながるスポーツです。わたしたちのクラブでは、FTVカルチャー教室講師の中込保子先生を招き、第1、2、3木曜日の午後「イコーゼ！」で活動しています。町外の方も含め、会員14人で真剣かつ笑い合いながら、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく体を動かしています。興味のある方は、体験や見学にお越しください。



WALK

今月は、西町を町歩きしてきました。
町内のお店・企業の情報をお届けします。



★テーブルとお座敷席を用意しています。



お食事処 力餅

桑折町字西町21

☎ 582-3170

🕒 11:00 ~ 15:00

17:00 ~ 18:30

📅 日曜日



柔らかくてのどごしが良いお餅が評判の「力餅」。つきたての風味を味わってもらうため、毎朝開店時間ちょうどにお餅がつきあがります。あん餅やごま餅をはじめ、お餅が入った「ラーメン」や「かうどん・そば」も人気です。また、甘めのソースが食欲をそそる「ソースカツ丼」もオススメ。本間肉屋さんから自慢のお肉を仕入れて美味しく仕上げています。今年で創業110周年。変わらない美味しさを守り続ける名店です。



5代目 穴戸 豊さん

DIARY



大変お世話になりました。ありがとうございました。

地域おこし協力隊
高野 大助さん

地域おこし協力隊の活動を紹介します。

このたび、3月末日をもちまして、地域おこし協力隊の1年間の任期を終えることとなりました。在任中は、町民の皆さまから温かいご支援とご協力をいただき、心より感謝しています。

「献上桃の郷」桑折町は、古い歴史と伝統があり、自然豊かな素晴らしい町です。その素敵な桑折町で、生活できたことをとても光栄に思います。

短い間ではございましたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。今後とも、農業振興活動拠点施設「レガールこおり」、レストラン「ピザスタ」をどうぞよろしくお願いいたします。

知りたい!をギュっと

振興公社の今 volume 11

ふくしま産業賞
「銀賞」受賞

福島民報社の第4回ふくしま経済・産業・ものづくり賞（ふくしま産業賞）で当社が「銀賞」を受賞し、2月8日、郡山市のホテルハマツで表彰式が行われました。

ふくしま産業賞は、福島県内の優れたものづくりや先進的な企業経営をたたえ、復興を後押しするものとして毎年開催されているものです。4回目となった今回は106の企業・団体・個人から108件の応募があり、35の団体・企業が受賞しました。表彰式終了後、交流会を開き、受賞企業同士の交流を図りました。



表彰を受ける高橋理事長

◆今年度より、裏表紙に町の子どもの夢を掲載しています。素敵な夢を応援していきましょう。広報カレンダーは16、17ページに掲載しています。

わたしの夢

今春から「駅伝名門校」へ進学 憧れの京都都大路をめざして

亀岡 かりん 花凜さん（醸芳中学校3年）



KARIN KAMEOKA

「お笑い」が大好きな亀岡さん。将来は「M1に出てみたい」というひそかな野望も。校内でも、周りのみんなを笑顔にさせてくれる、明るくムードメーカー的な存在です。

わたしの将来の目標は「駅伝の全国大会へ出場し、全国で名を残すこと」です。

全国大会へ出場するには、県大会での優勝が必須条件。この目標を達成するために、県南にある全国大会常連校への進学を決意しました。何度も公開授業へ足を運び、実際の練習を見学。これまで特設陸上部という形でしか練習してこなかったわたしにとって、その練習内容はとても刺激的でした。「わたしもこんな指導を受けてみたい」そんな思いが芽生えた頃、なんと顧問の先生がわざわざわたしの元を訪ねて来てくださったのです。「君はまだ伸びしろがある。一緒にやってみないか」ととてもありがたい言葉を掛けていただきました。

いよいよ来月から、親元を離れ、寮での新生活が始まります。背中を押してくれた家族やお世話になる方々に感謝の気持ちを忘れず、ライバルと切磋琢磨しながら、わたしにしかできない「走り」で恩返しをしていきたいです。

編集後記

今月の特集は、まもなく本丸の復元整備が終わる「桑折西山城」です！あまりに身近すぎて、どんな歴史があったのか詳しく分からない方も多いのではないのでしょうか。そこで、今月号は城の歴史に関する重要ポイントを紹介しています。「東北最大の大名の本拠地」「親子対決の乱」など、キーワードを聞いただけでも、現在の穏やかな町並みからは想像もつかない出来事がたくさん…。さて、続きが気になる方は、ぜひ特集2ページへ。また、4月21日開催の桑折散歩では、現地ですらに詳しい説明が聞けます。春のお散歩がてら、どうぞお気軽にご参加ください（愛莉）

◆町のすがた（前月比）2月1日付

人口	計	11,929人	(-19)
	男	5,687人	(-11)
	女	6,242人	(-8)
世帯数		4,599世帯	(-9)
転入	25人	出生	3人
転出	29人	死亡	18人